中央区立図書館調べかた案内　No．5

『演劇について調べる』

凡 例

・所蔵状況は 2026 年 5 月現在です。
・所蔵館略称　京：京橋図書館　日：日本橋図書館　月：月島図書館　晴：晴海図書館
・図書タイトルの下の情報は、（出版社/出版年/所蔵館略称名/請求記号）を表します。
・毎年出版される本や、各館で所蔵の版が異なるものは、出版年の表記をしていません。
・参考図書など一部貸出できない資料があります。館内でご利用ください。

１．手がかりとなる言葉

はじめに、自分が探している情報の手がかりとなる言葉を集めることが大切です。調べたい事柄から思い浮かぶ言葉をあげていきましょう。演劇と言っても、「芝居」「俳優」「歌舞伎」「演技」など、調べる対象はさまざまです。できるだけいろいろな角度から考えてみましょう。

（例）日本の演劇について調べたい。

舞台　新派　新劇　歌舞伎　能　狂言　新国劇　現代劇　アングラ劇　ミュージカル　役者　舞台芸術　衣裳　扮装　演技　裏方　大道具　小道具　鳴り物　映画脚本　劇作家　演目　劇場　芝居　演劇史　古典劇　文士劇　劇団　映画

自分が知りたい情報に関連した言葉を書き出してみましょう。

２．参考図書から探す

図書館の本は日本十進分類法（NDC）に基づいて分野別に分類されています。１で考えた手がかりとなる言葉をもとに検索機や参考図書などで調べていきます。演劇に関する本は、だいたい 77 で始まる数字に分類されますが、演劇の種類により分類が異なるため、さまざまな角度から探す必要があります。

演劇全体に関する本

『演劇年鑑』（日本演劇協会　京：R770.5/エ/年鑑　晴：R770.5/エ）
系列別劇場ごとの前年度上演記録。演劇関係の各賞受賞者、物故者一覧付。

『演劇百科大事典』（全 6 巻）（早稲田大学演劇博物館　京：R7703/3　日：R7703　月：R7703/エ）
演劇と芸能について全 14,000 項目を網羅。それぞれを各界の権威が執筆し、3,000 点の挿図付き。参考文献あり。

日本の芸能に関する本

『芸能文化史事典』（東京堂出版　2019　京：R772.1/ナ　日：R7721/ナ）
伝統芸能からアイドルまで幅広いジャンルについて、明治元年～平成 31 年の出来事を網羅し解説。

映画に関する本

『映画年鑑』（キネマ旬報社　京：R778/エ/年鑑）
上映映画、各賞受賞作品、関係人名録、俳優人名録あり。

『映画原作事典』（日外アソシエーツ　2019 年　京・月：R7780/エ）
2007 年～2018 年に国内で公開された日本映画・外国映画・アニメ映画 2,446 本について、原作名および収録された図書情報を収録。

『世界シネマ大事典』（三省堂　2017 年　京・日・月：R7782/セ　晴：778.2/セ）
古今東西の名作映画を草創期から最新作まで通史的に解説。

『映画賞受賞作品事典』（邦画編・洋画編）（日外アソシエーツ　京：R7780/エ　日：R7780）
国内外の映画賞、映画祭などで受賞した映画作品を収録。

放送に関する本

『ＮＨＫ年鑑』（NHK 出版　京：R699.2/エ/年鑑　日：R6992/エ）
NHK の歩みを体系的・継続的に記録。番組解説の章あり。前年度のデータを収録。

『日本民間放送年鑑』（コーケン出版　京：R699.3/ニ/年鑑）
民放界の 1 年の動きをまとめた「概況」、各社の年間の活動記録や衛星放送会社等一覧を掲載した「各社・関連機関」、資料データや名簿を収録した「資料・便覧」の各編で構成。

ロケ地に関する本

『全国映画ドラマロケ地事典』（[1]・2）（日外アソシエーツ　月：R7780/セ）
1990 年代後半以降の映画・ドラマ作品とそのロケ地を収録。

古典芸能に関する本

『日本の伝統芸能』（日外アソシエーツ　2017 年　京：R772.1/ニ　月：R7721/ニ）
伝統芸能・郷土芸能についての解説や参考図書を収録。

『能・狂言事典』（平凡社　2011 年　京・日・月：R7730/ノ　晴：R773/ノ）
能・狂言の作品をはじめ、歴史用語、演出用語から現代人名に至るまでを網羅。

『歌舞伎事典』（平凡社　2011 年　京・月：R7740/カ　日：7740　晴：R774/カ）
作品名・人名をはじめ、演技・演出・舞台・道具・衣裳・役者絵等に関する約 1,600 項目を収録。

３．一般図書から探す

演劇全体に関する本

『芝居のある風景』（白水社　2023 年　京：E772.1/ヤ/演劇　晴：772.1/ヤ）
作品にまつわるエピソードを交えた、著者による演劇評。

『2.5 次元文化論』（青弓社　2021 年　日：7721/ス　晴：Y772.1/ス）
アニメやゲームの世界を再現する 2.5 次元舞台の歴史やその特徴などを描いた 1 冊。

映画に関する本

『キネマ旬報ベスト・テン 95 回全史』（キネマ旬報社　2022 年　日：7782/キ）
世界最古の伝統を持つ映画賞としての地位を築く「キネマ旬報ベスト・テン」、解説を完全収録。

『戦後日本映画史』（新曜社　2022 年　京・晴：778/イ）
戦後映画の黄金期について、大映の企業活動を中心に企業経営史の観点からたどる。

『もっと日本映画を!』（言視舎　2024 年　日・月：7782/タ）
日本映画 100 本について、監督・俳優の魅力をはじめ、作品の時代背景についても紹介。

演技に関する本

『演技をはじめる人のためのハンドブック』（フィルムアート社　2024 年　京：E771.7/ク/演劇　月：7717/ク　晴：Y771.7/ク）
演技のテクニックや練習方法からオーディション準備など、演技のためのあれこれについて紹介。

日本映画のシナリオに関する本

『年鑑代表シナリオ集』（日本シナリオ作家協会　京：912.7/ネ　日：9127/ネ）

前年度に公開された日本映画の脚本集。公開順に収録。前年度日本映画封切作品一覧付。

古典芸能に関する本

『マンガでわかる能・狂言』（誠文堂新光社　2020 年　京：E773/マ/能・狂言　日：7730/マ　晴：Y773/マ）

初心者の疑問やよく公演される演目についてわかりやすく紹介。

『歌舞伎の解剖図鑑』（エクスナレッジ　京：E774/ツ/歌舞伎　日・月：7740/ツ　晴：774/ツ）

豊富なイラストとわかりやすい文章で、歌舞伎の基本を解説。

『これで眠くならない!能の名曲 60 選』（誠文堂新光社　日・月：7730/ナ　晴：773/ナ）

能の名曲から初心者が楽しみやすい 60 曲を厳選し、楽しみ方のポイントやあらすじなどを解説。

ミュージカルに関する本

『ミュージカルの解剖学』（春秋社　2024 年　京：E775.4/ナ/演劇　日：7754/ナ　晴：775.4/ナ）

あらすじやセリフ、キャラクターなどから、ミュージカルの魅力について解明。

※検索機で検索し特定の本を探すだけではなく、実際に関連図書がある棚に足を運び、手にとって見ることは、書名や検索機の情報だけではわからない図書を見つけることができ、大変有効です。
また、京橋図書館には 4 階に「演芸・演劇コーナー」があり、分類記号の前にＥがついている資料はその棚に並べられています。

４．新聞・雑誌記事から探す

◆中央区立図書館では、演劇に関する次の雑誌を所蔵しています。

- **『演劇界』（京：永年保存）　※2022 年 4 月号をもって休刊**
- **『えんぶ』（月：１年保存）**
- **『歌劇』（京：1 年保存）**
- **『キネマ旬報』（京：３年保存　日・月・晴：1 年保存）**
- **『シナリオ』（京：３年保存）**
- **『SCREEN』（京・日・月・晴：１年保存）**
- **『テアトロ』（京：永年保存）**
- **『悲劇喜劇』（京：永年保存）**
- **『ミュージカル』（日：３年保存）**

※また演劇に関する雑誌以外でも特集で取り上げていることがあります。検索機で特集名から検索することもできます。（月刊誌・一部週刊誌）

◆新聞縮刷版

京　橋：朝日・読売・日経・毎日
日本橋：毎日
月　島：朝日
晴　海：読売

※各新聞の書評や新刊案内などから、読みたい本を探すこともできます。

５．インターネットから探す

図書や雑誌だけでは網羅できない新しい情報を探すときに有効です。

	タイトル／作成者	URL	QR
1	ｅｎｐａｋｕ ／早稲田大学演劇博物館	https://enpaku.w.waseda.jp/	
	データベースをクリックすると演劇・映画に関する資料を検索できる。		
2	文化デジタルライブラリー ／独立行政法人日本芸術文化振興会	https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/	
	歌舞伎、能・狂言などの伝統芸能について、ビジュアル映像を多く用い、わかりやすく説明されている。		
3	歌舞伎on the web ／歌舞伎 on the web 事務局	https://www.kabuki.ne.jp/	
	公益社団法人日本俳優協会と一般社団法人伝統歌舞伎保存会が協力して設置した歌舞伎 on the web 事務局が運営。公演情報、歌舞伎俳優名鑑、演目が検索できる。		
4	公益財団法人 松竹大谷図書館	https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/	
	松竹が収集・所蔵してきた演劇と映画に関する資料の一部の検索や館のニュースレターを読むことができる。		

☆ご注意☆
ここでご紹介した資料はごく一部です。探している資料が見つからないなどご質問がございましたら、レファレンスカウンターにお尋ねください。ただし、資料に関する相談に限ります。